

2021

No.39

1/31



▲あさひプライムスキー場オープニングイベント



▲テープカット



▲パウダースノーのゲレンデを初滑り

議会だより

あさひむら

変革の時代へ・・・ 朝日村議会議員 塩原 智恵美

社会は「DX」「脱炭素」と大きな変革の波が起きています。こうした状況も踏まえながら、村が始めようとしている取組のひとつひとつが、より良い村づくりに繋がると信じて議会も頑張ります。

昨年「コロナ」で始まり、混沌とした社会不安の中で過ごした一年でした。しかしそうした状況下でも村民お一人おひとりの日々の暮らしがあり、一日の無事に安堵し、生きることを正面から見据えた一年でもありました。

村民の皆様方には、日頃から議会に深いご理解をいただいております事に、この紙面をお借りして改めて感謝申し上げます。また、新年初めての議会だよりを発行するにあたり、今年も宜しくお願い申し上げます。

今年の村は、この3月に行政改革大綱とこれに伴う実施計画が策定されます。柱は2つ。村づくりは「運営」から「経営」に。もう一つの柱は、村と村民との役割を「住民協働」としました。人口減少・少子高齢化が加速進行する中、これらは今後益々重要で避けて通れない取組と考えます。また新たな「男女共同参画計画」が4月からスタートします。女性も男性も共にこれまで以上に村づくりに参加する為の仕組みです。



▲オープニングイベントで挨拶する塩原議長

もくじ

- ・10月全員協議会、11月全員協議会 2
- ・第4回臨時会、12月定例会 3
- ・12月議会補正予算、委員会報告 4
- ・一般質問 村政を問う 5～9
- ・議員活動報告/議員活動日誌 10～11
- ・村民の声・ちょこっと訪問・編集後記 裏表紙

●「議会だより」第39号

発行日/2021年1月31日
 発行/朝日村議会
 〒390-1188 長野県東筑摩郡朝日村
 大字古見1555-1
 TEL.0263-99-2001(代)
 FAX.0263-99-2745
 Eメール:gikai@vill.asahi.nagano.jp
 印刷/川越印刷株式会社

**10/14
全員協議会**

益々拡大!! 松くい虫被害

村内における松くい虫被害は、平成28年に初めて確認。令和元年度に年間69本を処理。令和2年度（8月末現在）の処理本数は40本となっている。被害箇所は、標高750～850mの山林を中心に発生しているが、今年度は標高900mを超す山林にも被害がみられるようになった。

今後村は7月17日に開催された松くい虫防除対策協議会において承認された「朝日村松くい虫対策基本方針」に基づき、平地からの目視とともにドローンによる調査をおこない、早期発見早期駆除に取り組み被害拡大を止めていきたいと、現状を報告した。議員からは「伐倒燻蒸処理した後にも松枯れが確認されている。周辺での調査をして欲しい」など要望を出した。



広がる松くい虫被害

森林経営管理制度 検討委員会設置

全員協議会において今年度新たに配置された森林管理アドバイザーから、森林経営管理制度の概要の説明を受けた。

日本の森林は所有地が小規模、材木価格の低迷や林業者の減少、森林所有者の世代交代等により、適切な管理が進んでいないのが現状である。そこで国は平成31年4月に森林経営管理法を制定し、経営管理が行われていない森林について、市町村が森林所有者の委託を受け経営管理することや、林業経営者に再委託することにより、林業経営の効率化と管理の適正化を促進する仕組みを作った。

今後村は長野県林業コンサルタント協会に「森林経営管理区域抽出業務」を委託し、基本方針の策定案を作る。また、森林経営管理について理解し適正かつ円滑に実施するため、森林経営管理検討委員会を設置し、実施方針の策定や対象森林の抽出を行い森林所有者の意向を調査して森林整備進めていきたい旨の説明があった。

**11/11
全員協議会**

行政改革大綱 策定に向けて

村は朝日村行政改革大綱及び実施計画策定に向けて、令和2年度に実施している全343事業の棚卸調査及び職員の行革への意識調査、職員の定員管理調査を行い、その結果を議会に報告した。

棚卸では事業の「必要性」「行政の関与の妥当性」「有効性」「効率性」の観点から、見直しや検討の余地のある事業を抽出した。その結果95の事業に課題があるとし、結果を2021年度予算編成時の活用、今後事業の廃止民間移譲を検討、次年度以降も棚卸調査を行うこととした。

職員の行革への意識調査では全職員に共通した傾向、幹部職員・若手職員の傾向に分けて調査を行った。その結果、行政改革には若手職員より幹部職員が積極的である、庁内に円滑な人間関係はあるが、新しい事への挑戦、村民との協働、ミス防止やリスク軽減の体制に課題があること、管理職は部下へのエンパワメント（権限移譲）が必要等、課題を抽出した。

職員数では正規職員51人の年齢分布で40歳以下の職員が圧倒的に少ない、また、同じ財政規模と人口を持

つ県内57自治体と比較して、朝日村は職員が非常に少ないことも分かった。村はこの事業の見直しを基に行政改革推進本部会議で検討を進め、令和3年2月をめどに大綱を策定する予定としている。

旧役場庁舎 取り壊しの方針決定！

昭和11年に建築された旧役場庁舎は文化財の価値があり、登録有形文化財に登録される可能性も指摘されていたが、昨年村が行った耐震調査で活用するには最低でも約2億円から3億円が必要と試算された。村は旧庁舎のあり方を検討するため総合審議会、全地区からの意見集約など行ってきたが、耐震調査結果を受け地元小野沢地区の全戸を対象にアンケート調査（配布140件）を行った。その結果、回答71件の内65件、9割以上が取り壊しを選択した。これを受けて村は議会に取り壊しの方針を示した。議会からは「貴重な遺産、データ等何らかの形で記録を残して欲しい」旨の要望がでた。また、村民から「思い出多い建物、取り壊す前に、是非一度見学会やお別れイベントを開催して欲しい」などの声が議会に届いている。

第4回 臨時会 11/27

議会議員及び常勤特別職・一般職の 期末手当削減に関する条例可決!!

11月27日に第4回臨時会が招集された。提出された議案は、令和2年10月の人事院勧告を踏まえた国の一般職及び特別職の給与に関する法律の改正に合わせ、村議会議員・特別職・一般職の期末手当を0.05か月分引き下げる関係条例の改正

案3件と、30年前に設置した消防用アナログ無線機をデジタル無線システムに更新する工事請負契約8,492万円及び小学校のトイレ改修工事の請負契約1億395万円を締結するため議会に承認を求め、いずれも全会一致で可決した。

12月 定例会 12/3

12月補正予算 コロナ関連予算など 7,250万円を追加し

令和2年度一般会計 総額42億910万円に!!

12月定例会は3日から14日までの12日間の会期で開催された。提出された議案は条例13件、辺地1件、道路2件、補正予算7件の23件と陳情4件で、3日の全員協議会、7日の総務産業・社会文教委員会、10日の一般質問を経て、14日最終



日上程されたすべての議案を全会一致で原案通り可決した。また、最終日、村が追加提出した固定資産評価審査委員会委員の選任の同意3件及び工事請負契約の変更、議員提案の意見書2件を可決し閉会した。

人事案件

固定資産評価審査委員会委員

柳沢 俊作氏
上條 安志氏
上條 幸男氏

【任期】令和2年12月25日から
令和5年12月24日まで



手指消毒の徹底を!!

60項目に及ぶ村単独の 『新型コロナウイルス感染症対応事業費』 総額約2億3,100万円

村は地方創生臨時交付金を活用して、新型コロナウイルス感染症対応の各種支援を行ってきた。

主な村単独事業は生活応援・学生応援・新生児応援・中小企業等事業継続などの緊急交付金のほか、保育園・小学校・公共施設への感染症対策環境整備、全戸へのマスク等の感染症対策用品の配布など、約2億3,100万円となり、支援テーマ数は60項目に及んでいる。12月議会で村は既決予算を精査し、臨時交付金を有効活用するため追加事業を補正した。

4ページにコロナ関連主な補正の内訳

12月に追加された新型コロナウイルス感染症関連の主な補正事業

単位千円

● 朝日村新生児応援緊急給付金事業	3,007	国の特別定額給付金の給付対象外になった4月28日以降の新生児を対象とした生活応援給付 1人10万円×30人
● 公共施設費 備品購入費	2,695	公民館など公共施設にコロナ感染対策としてAIサーマルカメラ7台購入
● PCR検査等費用助成事業	2,000	感染症拡大や重症化を防止するため、学生、高齢者や基礎疾患を有する方に検査費用の助成を行う 100人分PCR検査20,000円、抗原定量検査7,500円
● 小学校トイレ自動水栓化事業	18,900	改修中のトイレについて手洗い自動水栓対応に変更し実施するための、追加費用
● 保育園保育室改修事業	10,708	過密状態の未満児室の三密回避のため改修事業

意見書

災害からの復旧・復興及び国土強靱化等に向けた社会資本整備の促進を求める意見書を提出

近年、気候変動による自然災害や大規模地震が多発し、県内でも、令和元年の台風災害や本年7月の豪雨災害等により甚大な被害が発生しているほか、糸魚川-静岡構造線断層帯による大規模地震発生のおそれも指摘されています。このような中、別枠での予算の確保、体制の拡充強化等により災害からの早期の復旧・復興を図

るとともに、防災・減災、国土強靱化に向けた社会資本整備を一層進めるため、「災害からの復旧・復興及び国土強靱化等に向けた社会資本整備の促進を求める意見書」を発議し、議員全員の賛成により採択しました。その結果 12月14日衆参両院、関係行政庁へ意見書を提出しました。

高橋 良二

社会文教委員会報告

12月7日に委員会に陳情第6号「安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情書」を慎重に審査しました。

陳情者からの内容説明や提供資料などから、新型コロナウイルス感染拡大で「医療崩壊」が危惧され、先進国の中では日本は医師や看護師が最も少ない、医療機関や施設面では30年前と比較すると保健所はほぼ半減、感染症病床は1/8となっている。社会保障財源面では公費負担金が低額で、被保険者本人負担額が高額となっていると

いう説明がありました。これらから医療・介護・福祉の現況や課題について審査した結果、医師・看護師の増員の必要性や感染症対応できる社会保障体制の充実強化・公衆衛生施策の拡充・社会保障費の財源確保等は、地域住民の安全・安心の暮らしには、必須条件であることから全会一致で「採択」しました。意見書も可決され、関係行政庁である、内閣総理大臣・厚生労働大臣・財務大臣・総務大臣に提出しました。

社会文教委員長 林 邦宏

総務産業委員会

12月7日に、委員会に付託された陳情3件を慎重に審査しました。

陳情第7号から9号までは長野県建築士事務所協会から、建築士が抱える長時間労働や後継者不足等の課題解決のためにも、国土交通省告示第98号の準拠や最低限度価格の設定の必要性、耐震診断業務も基準に準拠した契約が行われるよう陳情がありました。当村としても、安全・安心の社会インフラ確保のため今後とも履行されることが望ましいと全会一致で採択しました。

総務産業委員長 高橋 良二



村政に問う!!

一般質問とは、議場において議員が日常活動と住民の声や疑問をもとに、村政全般にわたり行政の姿勢を質すものです。

ここが聞きたい 9議員 15項目

齊藤 勝則議員

- 1 遊休荒廃農地解消への提言
- 2 第3波の新型コロナ対応について
- 3 プライムスキー場について

上條 昭三議員

- 1 新型コロナウイルス感染症対応について
- 2 高齢者ら避難支援について
- 3 農業の6次産業化について

北村 直樹議員

- 1 新型コロナウイルスに関する人権擁護対策について

上條 俊策議員

- 1 村道の除雪について

高橋 良三議員

- 1 朝日村の医療関係について

清沢 正毅議員

- 1 農林業センサスにみる、朝日村の農業振興の今後

高橋 廣美議員

- 1 国の2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロ宣言に対する村の対応は
- 2 コロナ禍における生活困窮者への支援について

林 邦宏議員

- 1 村道西洗馬7号線整備計画について
- 2 重ね城の遺構は今後如何に

中村 文映議員

- 1 副村長就任1年2カ月経過後の所感と村の今後の課題について

問 スキーシーズン到来、指定管理者も決まり大変ありがたい。

過去の経験を生かし、行政と指定管理者との連携を密にして、事業展開について欲しい。村民へのサービスは各施設を格安な料金体系で、新たな管理者の事業展開を詳しく話してもらいたい。

産業振興課長 月一回の定期打合せと、今は毎日連絡をとっている。ソリ遊びの「キッズパーク」はゲレンデ脇に、夏場利用はオートキャンプ場とし、コテージの村民割引は、3千円を考えている。今シーズンの小学校の予約状況は13校、食堂は野菜販売にも使いたい。

第3波コロナ禍対応について

問 政府の対応は遅きに失している。GOTOは止めることが新型コロナを抑え経済を助けることになる。また感染者が急激に増えた時の、当村を含めた地域の体制作りはどうなのか。

住民福祉課長 今の感染状況は大変だと思っている。

答 オールシーズン活性化する



齊藤勝則 議員

あさひプライムスキー場 事業の展開は



スキー場オープン

村としてはPCR検査など補正予算を組んでしっかり行い、丁寧に相談対応する。

国への財政の諸対応は町村会・県を通して行う。感染者対策の調整は各自治体と県でやっていく。今のところは、大丈夫である。



上條昭三 議員

コロナ禍の仕事や暮らし、 村民への影響調査は

答 調査はしないが、支援については気にかけてフォローしていく

問 長野県の新型コロナウイルス感染症について、村のホームページでは古い情報が記載されていましたが、ホームページはこまめな修正が必要かと思っています。また、感染症拡大による仕事や暮らしへの影響を調べるためNHKが調査を行いました。その結果、仕事に何らかの影響があったと答えた人が多く、コロナ禍のため再就職ができていない人も多いようです。村でもコロナ禍による仕事や暮らしへの影響についての調査が必要かと思いますが、如何でしょうか。

住民福祉課長 要支援者名簿は作成して毎年更新している。個別計画を作るためには地域の方が支援者になる必要がありますので区長、地区長とも相談する。

問 去年9月に認定されました松本市と山形村、朝日村による広域特区「信州松本平ワイン・シールド特区」です。この広域特区内の松本市にワイナリーが1軒オープンしました。山形村には以前からのワイナリーがあり、ワイナリーが無いのは朝日村だけになりました。農業の6次産業化の推進のためにも、官民協力して村にワイナリーを造りませんか。

村長 朝日村にもワイナリーが有ればよいとは思いますが、村営では考えられない。熱意を持った醸造家がいればどんな協力ができるか研究し、可能な限り協力していく。

れ防止のための個別計画を作成しませんか。



コロナウイルスに気を付けましょう



北村直樹 議員

新型コロナウイルスに関する 人権擁護対策は

答 児童に対する人権を守り、適切な教育運営を行う

問 未だにコロナの終息が見えない中、長野県内をはじめ全国的に感染が拡大している。いつ、村内でコロナ感染者が発生してもおかしくない状況であり、保育園児や小学校児童に万が一、コロナ感染者が発生した場合、当村ではどのような対応をするのか、次のことについて質問いたします。

- 教育次長**
- ① 管轄の保健所の助言を元に全て休校とするか、学年、学級を一時的に休業することを考えている。令和2年3月のような長期休校は考えていない。
 - ② 守秘義務については学校から名前の発表はしない。しかし、小規模校であるので調査の段階で特定される恐れがある。安易な詮索は控えるよう呼びかけを行う。
 - ③ 感染した児童に対しては保護者や村民へ人権擁護に対する発信を行っていく。
 - ④ 感染した児童に対し、可能な限り毎日担任から電話連絡を入れ声かけをしていく。児童に寄り添って心のケアを図っていく。



コロナ感染予防



上條俊策 議員

村道の除雪は

答 今年から徹底して行う

問 住民の方から「過去には団地内の村道も除雪して貰ったが、今は何年か前からして貰えなくなり、悩みの種である。県外から越して来て20年以上になり、住みやすくて良い所だと思っているが、ある時期から団地内の村道の除雪がSTOPし、現在もその状態で、それまでは年齢的にも除雪に参加出来たが、80歳を超えた頃よりそれが出来なくなり、近所の皆さんに対して非常に心苦しく悩んでいる。村外へ引越すわけにもいかず除雪の事だけが心配でしようがない、何とかして欲しい」と懇願されました。

同じ声は他の地区でも聞いていますが、予算の関係なのか、何なのかお聞きします。又、地区で除雪してくれる人を依頼して村に請求すれば経費を支給すると聞いていますが、その内容と利用回数を教えてください。

建設環境課長 以前、オペレーターが変わった時点から引き継ぎが悪くSTOPしてしまった。今年から



除雪車 頼むよ

県道・幹線道路の後、住宅街・歩道まで除雪を行う。又、村の要請により、大型除雪機・農業機械で除雪した場合は1,000円、小型除雪機は500円、燃料代として地区長経由申請で支払う。平成13年から施行され、実績は平成26年21名、47台で171,000円支出である。村は村民の皆様に除雪の周知徹底をはかっていきたい。

要望 今年から十分な除雪を行ってくれるという事ですが、村要請の除雪者の燃料代も手間も考えて見直しを検討していただきたく要望します。



高橋良二 議員

朝日村の医療関係は

答 今後検討委員会をつくって方針を出す

問 今年は新型コロナウイルス感染症問題で世界中が惑わされ、いつ終息するか出口の見えない状況であります。そこで、朝日村の医療関係の状況を長野県全体と比較してみました。

人口10万人当りの地域医療資源は、内科・小児科系診療所は、県は約62ヶ所、村は1ヶ所、歯科2ヶ所で外科・産婦人科・皮膚科・眼科・耳鼻咽喉科・精神科系はありません。人員数は医師1人、歯科医師2人です。介護関係施設数は県と遜色ない水準です。

住民の方から現在が良いが、将来、村の医療機関で見て貰いたい、もし無医村になることのないように願うが、村はどのように考えておられるか質問します。

村長 議員の言われる通り今後どうしていくか大事なことである。少なくとも内科系と歯科系は、現在の状況を維持し、他は近隣の松本市・塩尻市・山形村等に依存していく形になるうかと思われるが、三村医院の先生、歯科医師の先生方とご相談しながら、早速新年度には、検討委員会を組織し、今後に備えていきたい。



大丈夫ですよ



清沢正毅 議員

農林業センサスに見る 村農業振興の今後は？

答 村は農林業センサスの詳細な数字は把握していないが、現状実態を確実に把握して、第6次総合計画の村の農業振興施策に反映させている

問 11月27日農水省が発表した「農林業センサス」の数字によると、5年前に比較して農業従事者が国では22.5%、県では24.7%減少、65歳以上の高齢化率が国で69.8%、県では76.3%に上昇、県の平均年齢は69.4歳、一貫して農業従事者が減少し、高齢化率が高まっているとの事であるが、村の実態はどうか？

産業振興課長 今回発表の農林業センサスの数字は国・県ベースのものであり、地方自治体には今年度末公表との事であるため、センサスに関わる詳細な数字は持ち合わせていない。ただし、H27年調査の数字は把握している。認定農業者数434人、65歳以上264人(60.8%)、平均年齢は65.4歳である。

問 第6次総合計画の施策はこうしたセンサスの数字に基づいて作成されているという認識で良いか？

課長 先ほど言ったようにセンサスの数字は捉えていない。しかし、村では常に認定農業者や新規就農者の把握と地方創生事業における諸課題

を参考に第6次総合計画に反映させている。

問 現在取り組んでいる農地中間管理機構・中山間地域総合整備事業で、新たな優良農地整備を進めているが、一部の村民から「本当に有効利用が期待できるのか」と言った疑問の声もあるが、活用の見通しはどうか？

建設環境課長 耕作者が居ないと成立できない事業であり、実行委員会と農業委員会および農業法人の皆さんに協力いただき、現在100%活用の見通しである。

要望 最後に、若い農業従事者が希望の持てる、積極的に就農意欲をかき立てられる、就農環境の実現と農業振興の展開を期待します。



太陽光発電システムが設置された畑から見た風景



高橋廣美 議員

国の2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロ宣言に対する 村の対応は

答 脱炭素社会に向け、国、県と歩調を合わせる意向

問 菅首相が2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロ宣言をした。長野県でも「気候非常事態宣言」を行いこの中で「2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ宣言」をした。このような背景の中で当村も早急に宣言を出すべく準備をすべきでは。

県の脱炭素をめざす方向と同じ考えです。県企業局が進める朝日村における小水力発電等見守りたい。SDGsの理念を取り入れ村民に理解を求めていきたい。

問 木質バイオマス発電の考えは無いのか。

村長 当村の規模に合う小型のバイオマス発電は今後研究していきたい。

コロナ禍における生活困窮者への支援について

問 村では生活困窮者の支援はどうしているか。

住民福祉課長 生活支援窓口を創設し対応している。県社協の「まいさぽ東筑」に繋ぎ対応すべく、村社協が相談窓口となっている。



林 邦宏 議員

村道西洗馬7号線 墓地前の杉伐採を

答 自分で切ればよい!!

問 道路線形案では坂の山側・谷側の立木は伐採する計画に成っているものの、坂の登り口の墓地前、杉の伐採は計画から除外されており、要望書では道路法面から2m範囲内の立木は全て伐採する内容です。冬期間路面凍結を緩和させるため、道路面への日照を阻害する立木を伐採して、安心・安全な生活村道に改善する、地区住民の身の丈に合った、道路整備要望です。道路管理者である村長のお考えを伺います。

建設環境課長 計画から外れた理由は、坂の下った平地にある。急なカーブを緩やかにするため、その箇所は、畑側に大きく寄せて行くので、急カーブの半分以上が道路の路肩となり改良道路から離れるため。該当する立木の杉は3〜4本あるが伐採しても冬期間路面凍結は解消されない。

問 伐採せず、現状のままですといずれ路面上に覆いかぶさり道路整備の効果が薄れてしまい墓前は、中途半端な道路整備事業となってしまう。



伐採希望の杉

います。村道西洗馬87号線改良工事のような不具合事業にならぬよう上組・向陽台99世帯303人住民の切なる要望です。

村長 ある程度、何処かの線のところで、納得していただきたい。

問 高齢者の皆様方からは冬期間でも、ある程度安心して通行できるように伐採して最善を尽くして欲しいと言われている。

村長 林議員が先頭に立って上組・向陽台の皆様から資金を募って自分で切れば良い。

要望 村長のその発言にはとやかく申し上げませんが、再度検討願いたい。



中村文映 議員

副村長就任1年2カ月、 所感と課題は

答 職員は財産、人材育成の道筋をつける!

問 「行政のスピードと質の向上」を使命として就任されたが、現在の進捗状況は。

副村長 横断的な視点で各課の仲立ちをしている。決着では、村長不在時も代決し事務処理の停滞はない。職員構成を見直し、正規職員を配置して組織力の向上を図る。

問 村民の声をどのように聞いてきたか。また、村の実状をどのように捉え、村政に反映していくか。

副村長 出前村政で住民の要望を伺い、廃屋の整理、松くい虫対策や買い物バスの運転などを行った。また、策定中の計画の住民アンケート結果や策定委員会に出席してニーズを把握、村政への反映、推進を図っている。
問 県との関係では具体的にどのような事をしたか。

副村長 県の仕事の進め方の紹介、担当部署との繋ぎ、いち早い情報の引き出しが出来た。将来の医師不足・医療体制の検討、小水力発電の推進で県と連携していきたい。

問 進む少子高齢化、人口減少に対

して、優先課題は何か、また解決策は。
副村長 費用対効果を見極め長期的視点たつて、移住者を呼び込む住宅対策に戦略的に取り組む。また、子育て支援、新規就農・後継支援を住宅とパッケージで推進していく。
問 村の今後を見据えて、人事配置や職員の育成をどのように考えているか。

副村長 人材育成には時間がかかる。職員は行政を進める上で財産。人材育成の道筋をつけていきたい。
要望 コミュニケーションが取りにくいコロナ禍ではあるが、機会を捉え機会を作り、多くの村民と交流して村民の考えを理解し、それを村長に伝えて村政に反映する先頭に立っていただきたい。

議員 活動報告

鎖川「秋の河川清掃」

村議会では去る10月18日、鎖川河川愛護会主催の「秋の河川清掃」に参加し、朝8時から11時まで草刈りとゴミ拾いを行いました。

議会の割り当ては、松ノ木橋から上流の約80mの区間。作業を進めるうちに晴れ間も見えて、用意されたパンと飲み物を時々いただきながら行いました。

春先にできていれば草やアカシアの木も大きくならずにすんでいたはずです。新型コロナウイルスの影響はすごいものです。来年は春先にできるといいですね。

(高橋良二)



刈払機持参で集まった議員



伐採作業中の議員

現地を目で見て 聞いて参加して

議員活動日誌のとおり議員は、沢山の諸会議・行事・研修及び視察を行っています。このコーナーでは、主だった活動についてご報告させていただきます。

議会デジタル化検討委員会発足

昨今のデジタル情報的重要性や紙といった資源の無駄を省くエコ環境への取組、そして、コロナ禍においてのICT活用の時代となりました。これらの背景を受け当議会は、去る11月11日に東筑摩郡の村の中でいち早くペーパーレス議会の検討やICT技術を駆使したタブレット端末の導入を行うため、「議会デジタル化検討委員会」を発足し、次のとおり決定しました。

委員長 北村直樹
副委員長 中村文映
委員 高橋廣美
齊藤勝則
上條昭三

今後はタブレット使用時の運用マニュアル規定の作成や、タブレットの使い方等の研修を行う予定です。

こうした取組を行うことで資源の無駄を省き、役場行政の事務負担の軽減を図るとともに、時代の流れに合わせた議会運営を行ってまいります。

(北村直樹)



タブレット使い方研修会



議会活動日誌

10月

- 6 火 老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画策
定委員会
- 8 木 上下水道事業運営審議会
- 12 月 松塩地区広域施設組合議会議会運営委員会
- 14 水 議会全員協議会／議会運営委員会
- 15 木 環境審議会
- 18 日 **鑽川河川愛護会「秋の河川清掃」 10P**
- 22 木 行政区画審議会
- 23 金 議会システム概要説明会
- 27 火 町村議長会定期総会
- 28 水 松塩筑木曾老人福祉施設組合議会運営委員会
朝日村土地開発公社理事会
- 30 金 松塩地区広域施設組合議会10月定例会
- 31 土 議会だより第38号発行日

11月

- 1 日 朝日村表彰式・朝日村社会福祉協議会表彰式
- 5 木 松塩筑木曾老人福祉施設組合議会11月定例
会・全協／男女共同参画審議会
- 11 水 議会全員協議会／**議会デジタル化検討委員会 10P**
- 13 金 東筑摩郡議長会県要望・県議会陳情
- 15 日 筑北村議会村民と議会議員との懇談会
- 16 月 松本広域連合11月定例会・連合議会議員協議会
- 17 火 最終処分場連絡会議
- 18 水 **鉢盛中学校組合議会 11P**
- 20 金 老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画策
定委員会
- 24 火 議会運営委員会／松塩地区広域施設組合議員
協議会／上下水道事業運営審議会
- 25 水 鳥獣被害防止対策協議会／森林林業経営管理
制度検討会
- 26 木 JA松本ハイランド朝日支所野菜生産販売実績
検討会
- 27 金 第4回臨時会／議会全員協議会
- 30 月 JA松本ハイランド朝日野菜予冷库集出荷施設
改修工事起工式

12月

- 3 木 議会定例会本会議・議会全員協議会
- 6 日 あさひプライムスキー場安全祈願
- 7 月 議会常任委員会 議会だより編集委員会
- 10 木 議会定例会本会議一般質問
- 14 月 議会定例会本会議／議会全員協議会
- 15 火 朝日村社会福祉協議会評議員会
- 18 金 行政区画審議会
- 19 土 あさひプライムスキー場オープニングセレモニー
- 20 日 アイススケート場安全祈願
- 21 月 男女共同参画審議会
- 22 火 行政・JA懇談会
朝日村消防団第5分団詰所完成見学会 11P

修学旅行キャンセル料は保護者負担？

昨年11月18日山形村で、松本市・山形村・朝日村中学校組合議会が開かれ、一般質問の機会を与えられた。

これに先立つ7月の臨時会で、藤田校長から次のような報告があった。「2月25日に急ぎよ中止とした2年生（現3年生）の修学旅行についてキャンセル料が発生し、保護者負担として1万5千円を既に負担いただいた。」という内容だった。

キャンセル料は保護者負担に値するのか疑問を呈し、

11月議会ですぐに質問した。「文部科学省は『修学旅行の中止、延期に伴うキャンセル料は保護者の経済的負担軽減のため、財政支援する。』という通知を各自自治体に出してあり、これに該当すると思

われるため公費負担が望ましいのではないかと質した。結果、組合教育委員会から、その方向で調整すると答弁が得られた。今後は何らかの方法で関係者への返金の報告がなされると思われる。

（塩原智恵美）

第5分団詰所竣工見学会

12月22日、西洗馬区民の宿願であった分団詰所が竣工し見学会の運びになったことにお祝申しあげます。団員の皆様におかれましては昭和45年に新築された旧詰所が耐震性が無く、何時崩壊してもおかしくない、という不安の環境下での消防活動、お疲れ様でした。25日からの年末夜警となりますが、今後の防災・減災の活動拠点となりますよう期待致しております。

新築の詰所は、中組バイパス沿いの消防車両の出入り

が容易な箇所の間口17m奥行40mの敷地に、床面積72㎡の鉄筋2階建の建物です。1階は消防車両の車庫とトイレ・倉庫で、2階は28畳の和室・キッチン・トイレとなっています。駐車場は建物の南側で15台駐車できます。消防ホース掛け櫓は建物正面の右側に、半鐘は二階の正面の室外に吊り下げられています。

中村敏博分団長は、新築の詰所で満足感を糧に更に充実した活動展開を目指すとのことでした。

（林 邦宏）

中組バイパス沿いに建つ第5分団詰所



村民の声

八年経って

移住者 横尾春樹さん



「もしも子どもを産み育てるなら、ここ（東京）ではなくてもっと自然のあるところ、たとえば『アルプスの少女ハイジ』みたいな環境のところがいいね。」九年前に一緒にあった妻の一言。そして、東日本大震災がきっかけだった。『自分たちが納得のいく生き方を』そんなことを思っているときに、ふとした縁をいただいて朝日村に移住してきたのが八年前だ。朝日村の



見学ツアーに参加して友人を得て、やがて当時の役場の担当だった方から、「いい空き家がありますよ」という連絡をいただいた。仕事もなんのあてもなかったが、「なんかなるだろう」とやって来た。そしてほとんど娘を授かった。お陰様で、人と自然ふたつの環境に恵まれて、実際なんとかなりながら、娘も、ついでに羊もすくすくと育っている。

早朝仕事を終えてまだほの暗い、冴え冴えとした星空の下、身体を包む冷澄な空気をすつと吸い込む。全身を新鮮なエネルギーが駆け巡る。「生」を実感する瞬間だ。

案ではなくても楽しい暮らし、イイ生活ではなくても善き生活がここにはある。ハイジに出てくるのが羊ではなくて山羊だということに後から気がついたのは、まあご愛嬌である。



村内の施設やイベントに
議員が訪問して、
その取り組みや要望を聞く
地域密着のコーナー

第7弾「三村木工有限公司」



レザー加工されたねずこ下駄

日本で唯一！
「ねずこ下駄」製造

『ねずこ』は木曽五木※の1つで、軽くて湿気にも強く肌触りが良いため、昔から下駄の素材として使われていた。今回は、ねずこ下駄を作っている三村木工を訪問。専務の三村幸凡さんにお話を伺った。

昨年爆発的人気の『鬼滅の刃』、その主人公炭治郎の妹の名が「禰豆子（ねずこ）」これに乗じて売り上げが伸びているのでは？とお聴きしたところ、特需は無く「コロナで受注は減少気味」とのこと、うーん残念！

当社は創業75年。日本で『ねずこ下駄』を製造しているのはここだけという。伝統工芸品の風格さながら、木目に沿って磨き上げられた木肌の触感が心地よい。

当社では新たな顧客獲得を見込み、下駄の表面に麻の葉や市松模様をレザー加工で施した新デザイン商品を開発。朝日村のふるさと納税の返礼品としても活用され人気が出ているそうだ。

村の87%が山林、そんな朝日村の産業として、日本唯一の『ねずこ下駄』の販売促進に向けて、村に出来ることがまだあるのでは…と思うた取材となりました。

※木曽五木：ヒノキ、サウラ、スギ、ヒバ、コウヤマキ

新製品の開発に取り組む
三村専務

大量に並ぶねずこの原木

編集後記

NHKテレビで「多様化する葬儀と供養」の番組を夫婦で見ている時の会話「妻「自分のお骨がダイヤモンドになるんですって！私もダイヤモンドになつて、遺族のもとで輝きたいな！お父さんは？」夫「まだ残っている人生もっと輝きたい！」

第3波の「コロナ禍」で、今までに経験したことのない静かな年末年始を過ごし、新しい年のスタートとなりました。家に居て家族との会話の時間が多くなりましたが、早く「コロナ」が収束して明るいホットな会話ができるようになりたいですね！皆さん、「コロナ」に負けず元気に頑張りますよ。

発行責任者

議長

編集委員

委員長

副委員長

委員

塩原智恵美

中村映映

高橋廣美

林 邦宏

清沢正毅

北村直樹



◀こちらから
朝日村議会の
ホームページを
ご覧いただけます